

政務活動報告書

会派名 弘前さくら未来

年 月 日	2024 年 3 月 27 日 ~ 2024 年 3 月 28 日			
場 所 (市外の場合は 行程を記入)	リファレンス国際ビル東京 弘前駅～新青森駅～東京 電車、新幹線移動にて			
相手方 (会議名等)	地方議員研究会 Withコロナ時代の地域公共交通特別講座			
	地方議員研究会			
参加議員名	竹内博之、成田大介、樋川篤子 赤平泰衛、工藤裕介			
活動の概要	別紙のとおり			
※会議・研修資料等があれば、添付してください。				
活動に要した経費	主な品目	政務活動費相当額	領収書番号	支払証明書番号
	旅費及び宿泊料	220,000 円	9	
	受講料	150,000 円	10	
		円		
		円		
		円		
	合計額	370,000 円		
備 考	(写真貼付等) 別紙のとおり			

令和6年3月28日

With コロナ時代の地域公共交通特別講座を受講して

弘前市議会 会派弘前さくら未来
竹内博之 成田大介 樋川篤子
赤平泰衛 工藤裕介

●概要

今回の研修会では、地域公共交通のリ・デザインと自治体の関わり方に焦点が当てられました。新型コロナウイルスが公共交通に与えた影響、公共交通維持のためのシフト、時間帯別運賃やダイナミックプライシング、海外および国内での取り組み例、公共交通の無償化への転換など、公共交通維持・活性化に向けた多岐にわたるアプローチが議論されました。公共交通の持続可能性は事業者の経営努力や自治体からの補助だけではなく、地域全体で公共交通の価値を再認識し、利便性向上に向けた戦略的な取り組みが不可欠であることが強調されました。

コロナ禍における外出自粛は、公共交通への影響だけでなく、高齢者の体力低下やコミュニティからの乖離といった社会的な影響も指摘され、公共交通の維持が地域社会の健全な機能維持にも寄与することが示されました。

千葉モノレールの維持のための行政負担の検討、滋賀県における交通税の導入検討、富山県における自治体と市民の公共交通への投資と参画、そして珠洲市における公共交通の無償化など、地域に応じた多様な取り組みが紹介されました。これらは、公共交通の再構築には従来の枠組みを超えた創造的なアプローチが求められることを示しています。

総じて、この研修会は公共交通の持続可能性に向けた現状認識と対策の必要性を明確にしました。地域公共交通の未来を考える上で重要な示唆を与えるものであり、自治体、事業者、市民が一体となって公共交通システムのリ・デザインに取り組むことの重要性が強調されました。

●竹内博之 所感

この研修会を通じて、公共交通における技術革新、特に自動運転技術や MaaS (Mobility as a Service) の導入が、地域公共交通の再構築において重要な役割を果たす可能性があることを学んだ。新技術を取り入れることで、利便性が向上し、より多くの市民が公共交通を利用するきっかけになるだろう。また、コロナ禍における公共交通の利用減少を考える上で、安全性や衛生面での市民の不安を解消するためにも、技術革新は欠かせない要素であると感じた。

●成田大介 所感

公共交通の持続可能な運営には、地域コミュニティの積極的な関与が不可欠であることが明らかになった。地域の人々が公共交通の価値を理解し、それを支えるために協力することが、サービスの質を向上させ、長期的な維持に繋がる。珠洲市の例のように、自治体と市民が一体となって公共交通を支えることで、より豊かな地域社会が実現する。地域コミュニティの力を借りることの重要性を再認識した。

●樋川篤子 所感

公共交通の維持・活性化には、経済的支援も重要な要素である。特に、コロナ禍で収入が減少した公共交通への補助金支給や、滋賀県で検討されている交通税の導入など、財政的な支援策が公共交通を支える一助となることがわかった。ただし、単に資金を提供するだけでなく、その資金が効果的に活用されるような仕組み作りが求められる。

また、資金の効果的活用については自治体や議会のチェックは不可欠であり、緊張関係をどう維持していくかも重要な視点であると痛感した。

●赤平泰衛 所感

公共交通の再構築において、上下分離モデルが注目されている。このモデルでは、自治体がインフラを保有し、運行は民間事業者が行う形態を取る。これにより、運行コストの削減やサービスの質の向上が期待できる。特に、千葉モノレールのケースは、地域公共交通の新しい運営形態を模索する上で、貴重な参考例となる。

当市においても、弘南鉄道大鰐線の今後の大きな議論になっており、上下分離モデルの論点でも議論が必要となるのではないかと感じた。

●工藤裕介 所感

新型コロナウイルスの影響により、公共交通の利用者数が大幅に減少した。この状況を踏まえ、公共交通の利用促進や維持に向けた対策が急務であることが明らかになった。特に、安全で清潔な環境の提供や、利用者のニーズに応じた運行ダイヤの調整など、柔軟な対応が求められる時代になっている。

当市においても、公共交通機関の経営改善の一環としてダイヤ改正など発表されているが、利用者ニーズを適切に、客観的に評価できるようなデータ収集等、ニーズの裏付けとなるデータも必要であると感じた。

地方議員研究会

withコロナ時代の
地域公共交通特別講座in
東京

10:00 ~ 12:30

高齢化の進展・人口減少に
対応した交通まちづくり

開催日

1月9日(火)

1月17日(水)

3月27日(水)

- ・地方都市と地域公共交通の現状
- ・自家有償旅客運送やデマンド交通などの選択肢
- ・地域公共交通がまちづくりに与える効果
- ・地域(共同体)で支えるための仕組みづくり

14:00 ~ 16:30

地域公共交通活性化再生法の
改正と地域公共交通計画

- ・地域公共交通活性化再生法の改正
- ・地域公共交通計画に求められる要件
- ・輸送資源の総動員による公共交通ネットワークの構築
- ・地域公共交通計画作成/見直し時のポイント



10:00 ~ 12:30

共創による地域公共交通の
リ・デザインと自治体の関わり方

開催日

1月10日(水)

1月18日(木)

3月28日(木)

- ・コロナが与えた地域公共交通への影響
- ・公設民営、上下分離などの地域公共交通への関わり方の見直し
- ・地域と共に支える利用促進支援策
- ・地域交通の「リ・デザイン」(再構築)と3つの共創

14:00 ~ 16:30

交通DX/GXを活用した
これからの公共交通

- ・自動運転や電動車両などの次世代自動車技術の現状
- ・公共交通オープンデータの活用によるデジタル化の推進
- ・MaaS(Mobility as a Service)による地域公共交通の活性化
- ・DXだけでなくアナログでも便利にできること
- ・新しい共有の形「ライドシェア」

講師

いはら ゆうと
井原 雄人

早稲田大学 スマート社会技術融合研究機構 研究院客員准教授、
合同会社ビジュアライト 共同代表、早稲田大学大学院環境・エネルギー研究科満期退学。
博士(学術・早稲田大学)

紹介

大学における研究成果を実際の社会で活用することを目的に、電動バスや燃料電池車両の
開発から、それらを活用した地域公共交通の計画策定や地域が主体となったコミュニティ
交通導入を実施。

↑ FAX 050-6868-9679 ↑

お申込みは ☎ FAX または ✉ メールにて

お申込み後、事務局から折り返し「受講確認書」を一両日中にFAXまたはメールにて送付します。「受講確認書」に従って、事前に口座へお振込みください。



メール申込み方法

mail@chihogiken.or.jp



FAX申込み書

申込書に明記の上、FAXで050-6868-9679宛にお送りください。
参加される講座にチェックボックスへ チェックください。

in 東京

1月9日 (火曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 高齢化の進展・ 人口減少に対応した 交通まちづくり	1月17日 (水曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 高齢化の進展・ 人口減少に対応した 交通まちづくり	3月27日 (水曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 高齢化の進展・ 人口減少に対応した 交通まちづくり
	<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 地域公共交通活性化 再生法の改正と 地域公共交通計画		<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 地域公共交通活性化 再生法の改正と 地域公共交通計画		<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 地域公共交通活性化 再生法の改正と 地域公共交通計画
1月10日 (水曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 共創による地域公共交通の リ・デザインと 自治体の関わり方	1月18日 (木曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 共創による地域公共交通の リ・デザインと 自治体の関わり方	3月28日 (木曜日)	<input type="checkbox"/> 10:00~12:30 共創による地域公共交通の リ・デザインと 自治体の関わり方
	<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 交通DX/GXを活用した これからの公共交通		<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 交通DX/GXを活用した これからの公共交通		<input type="checkbox"/> 14:00~16:30 交通DX/GXを活用した これからの公共交通

お名前	(フリガナ)	貴議会名	(期目)
電話番号	() - ()	FAX番号	() - ()
E-mail	@		
領収証宛名	ご本人様名 ・ その他 ()		
会場の参加を希望せず、 郵送サービスでのお申込みの方は チェックしてください	<input type="checkbox"/> 当日不参加(資料、USB動画データ、領収証 郵送希望) <small>動画データの無断転載等是不しいことに同意して申込みます ※定員がございますので、チェックされた方は来場されてもご入場をお断りさせていただきます。 必ず欠席される方のみチェックしてください。</small>		
郵送先の住所	※郵送希望の方は ご記入ください	郵便 番号	(-)

開催
場所

リファレンス国際ビル貸会議室

[12講座
同場所] 〒100-0005 東京都千代田区
丸の内3丁目1-1 国際ビル2F

受講料

1講座 15,000円(税込)

受講料は「受講確認書」到着後に
事前にお振込みをお願いします。

※キャンセルは、7日前までにご連絡ください。

お問合せ
事務局

地方議員研究会

TEL 050-6868-9678

FAX 050-6868-9679

メール mail@chihogiken.or.jp

〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1-2-2 大阪駅前第2ビル2階5-6号室

会場が
変わりました



- ▶ JR有楽町線 有楽町駅 国際フォーラム口より 徒歩1分
- ▶ 東京メトロ有楽町線 有楽町駅 D1より連絡
- ▶ 東京駅から 徒歩10分 ▶ 東京駅からタクシーで約500円